

ぐんま経済新聞

発行所 群馬経済新聞社
本社(郵便番号371-0017)
前橋市日吉町3-31-17 3F
電話代表 (027)289-0990
FAX (027)289-3045
郵便振替口座 00390-5879
©群馬経済新聞社 2016

MITSUBA
http://www.mitsuba.co.jp
心 ひろがる技術

夢の翼
ミツバは、社会と環境に調和した技術の創造を通じて、世界の人々に喜びと安心を提供します。

株式会社 ミツバ
〒376-8555
群馬県桐生市広沢町1-2681
☎(0277)52-0111(代)

製作用カタログ超え業種

歳暮期需要見込み 食品加工業者×スーパー×ギフト専門店

県内の食品加工業者・農業生産者22社と食品スーパーを展開するエコーショップ関東(本社・横浜市・織田展男社長)、総合ギフト商品卸のヨシダ(高崎市、吉田健一郎社長)が連携して冬のギフトカタログを作成した。おいしい群馬再発見をテーマに業種の垣根を超えて集結。エコーショップ関東が県内で展開する「JAファーマーズ」「Aコープ」16店舗とヨシダの「GIFT創造館」5店舗、食品加工業者の店舗にカタログを配置し主に歳暮用として受注する。来年以降も中元用と歳暮用を作成し事業を定例化していく方針だ。

今回の事業は12年に発足した異業種交流会が端緒に足した県商工会連合会の一つ。夢のコラボレーション

ヨシダ実行委員会を発足し、長や地産地消を推進する洋菓子製造・販売のルポ(JAファーマーズ前橋朝日町店の井田貴寿店長ら



オープニングセレモニーに参加した県内食品加工業者ら

商品概要と表の顔写真の価格帯は5000円を印刷した。DMを発送するほかヨシダの所定のフタを付けている。



作製したカタログ

ペットの訪問介護・看護 将来は葬儀場、霊園も

オービターが「ケアベッツ高崎」



竹内社長

葬儀の返礼品を中心としたギフト販売を手掛けるオービター(高崎市南屋町4-6-6、竹内克記社長)は社内にペット

ペットの訪問介護・看護

の訪問介護・看護を手掛ける「ケアベッツ高崎」(027-370-5418)を開設した。専門知識を備えた動物看護師が自宅に向き介護・看護、散歩代行などのサービスを行う。ペットの寿命が延びていることや飼いが高齢化している場合に対応した。2〜3年後をめどにペットの老人ホーム、葬儀場、霊園などの建設を目指す。新設したトータルペットサービス事業部が運営

する。正社員1人、パート3人の4人態勢だが早急に10人態勢とする。パート社員は全員、一般財団法人動物看護師統一認定機構の試験に合格した動物看護師。都内で2店舗を運営するケアベッツとフランチャイズチェーン(FCC)契約を締結した。訪問エリアは高崎市、前橋市、藤岡市、伊勢崎市、玉村町、富岡市。最終的には

新物流センターが完成

投資額28億円、70店舗まで対応

フレッセイ

アクシアルリテイリング(成行社長)が、本社北側ググループ(新潟県長岡市)のスーパーマーケットチェーン、フレッセイ(前橋市丸町、植木

資額は約28億円、建物は延べ床面積約9500平方メートル、グループのノウハウを取り入れた。12月に一部稼働を開始し、来年2月の本稼働を予定している。対象となるのは全51店舗だが、将来的に70店舗まで対応できる態勢を整えている。フレッセイの物流センターはこれまで、本社に併設して稼働していたが、手狭な上、手作業による仕分け効率が悪かった。また、問屋や市場で仕分けしていた部分を新センターに集約する。

開設地は本社北側で新たに取得した約1万9000平方メートルの敷地。建物は鉄骨造1部2階建て、延べ床面積約9500平方メートル。設計は細貝建築事務所(新潟県長岡市)、施工は福田組(新潟市中央区)が担当した。設備では、トラックと入出荷口のすき間を埋めるドックシールドを56カ所、自動仕分けライン(ソーター)を入荷側5本、出荷側4本設けた。仕分け能力は1時間当たり5700箱。出荷の際に重い商品が滑り落ちないように、ラインの形状をローラーではなくベルトとするなど、グループのノウハウを取り入れた。スタッフは約230人で、そのうち100人が新規採用。問屋からの入荷商品をソーターで検品、店舗別に仕分けし、フレッセイ全店舗に1日



竣工式であいさつする植木社長

4回配送する。これまで問屋から直接店に届く場合もあったが、今後は配送回数が増えるため店舗スタッフの負担軽減にもつながる。

6日に開いた竣工式には、同社関係者や施工業者、アクシアルリテイリングの原和彦社長、来賓の山本龍前橋市長、齋藤一雄群馬銀行頭取などが出席。修祓式や見学会、ソーター起動セレモニー、式典などに臨んだ。

また原社長は「当社の大型物流センターで築き上げた、さまざまなノウハウを前橋物流センターに取り入れたことで、非常に重要な役割を果たしている」と述べた。(湯浅順二)

来月24日にフォーラム

コンベンション取り組み推進で

県は11月24日、エテルナ高崎(高崎市栄町)で「ぐんまコンベンションフォーラム」を開く。

1部ではMPI Japan Chapterの開催における地域の「化」のテーマで基調講演する。

2部では「コンベンション開催における地域の取組」についてのパネル

社長訪問

ディスカッションを行う。時間は午後2時から同4時30分まで。定員は300人。参加は無料だが、事前の予約が必要。詳しい問い合わせは県企画部コンベンション推進課(027-8997-250)まで。

青前

ピアノ送会社は、ほどこしか社が田村さんは2歳。初対面だが、重は50キ、ピアノ250キ、アノだと

「オートパーツフェ

7月17日2700人

ペットを訪問介護

動物看護師が体調管理

葬儀の返礼品を販売するオービター(高崎市問屋町、竹内克記社長)は1日、同所でペットの訪問介護・看護を手掛ける「ケアペット高崎」を開業する。動物看護師が利用者宅に向いて犬猫の体調を管理し、食事の世話や散歩を代行する。飼い主とペットの高齢化が進む中、専門知識を備えたスタッフが自宅での世話を支援する。

物病院の獣医師に連絡する。訪問地域は同市と前橋、伊勢崎、藤岡、富岡、玉村で、将来は太田方面にも広げる。犬猫を対象で料金は利用サービスによって異なるが、1時間当たり平均3千円。カメラマンやイラストレーターと提携し、写真撮影やイラストの作成など、総合的なサービスを提供する。

ペットの寿命が伸びるのに伴い、足腰が弱くなって散歩が難しくなるといった問題に着目。飼い主の高齢化や働く女性の増加なども背景に、専門スタッフ動物看護師を派遣し、サービスの質を担保する。ケアペットは今年7

月全国1号店となる神楽坂店を開店。予想を上回る利用があり、9月に都内に2号店を開き、高崎は3店目。オービターは葬儀業のプリエッセ(高崎市本町のグループ会社)竹内社長は「便利に使用してもらい、飼い主、ペット業界の役に立ちたい。将来はペットの

コーヒー豆の専用売り場

私の部屋前橋店 マンデリンなど16種



雑貨店「私の部屋前橋店」(前橋市川原町、中津山芳子店長)は店内を改装し、コーヒー豆の販売コーナーを1階に新設した。16種の豆を量り売りするほか、2階の喫茶室で味わえるようにした。

10月1日の「コーヒーの日」にちなみ、9月30日、10月1、2日の3日間はキャンペーンを行う。200g以上購入すると10%引きで、さらに「コーヒー苗かコーヒーの麻袋を数量限定で贈呈する。また、10月12日は「コーヒーの入れ方教室を開く。参加費1500円。申し込み、問い合わせは同店(8027・237・1055)へ。



「群馬づくり」をPRする名川氏(左)と北林氏

「群馬づくり」新発売をPR

キリン工場長ら来社

キリンビール執行役員北北海道千歳工場長の名川誠氏(58)らが28日、前橋市古市町の上毛新聞社を訪れ、北村幸雄社長に、同工場で製造し、10月12日に新発売するビール「群馬づくり」をPRした。47都道府県ごとに味の違いを出した「一番搾り」を製造するプロジェクトの一環で、「群馬づくり」をPRした。

カメラで選別の新選果場起工式

J A佐波伊勢崎

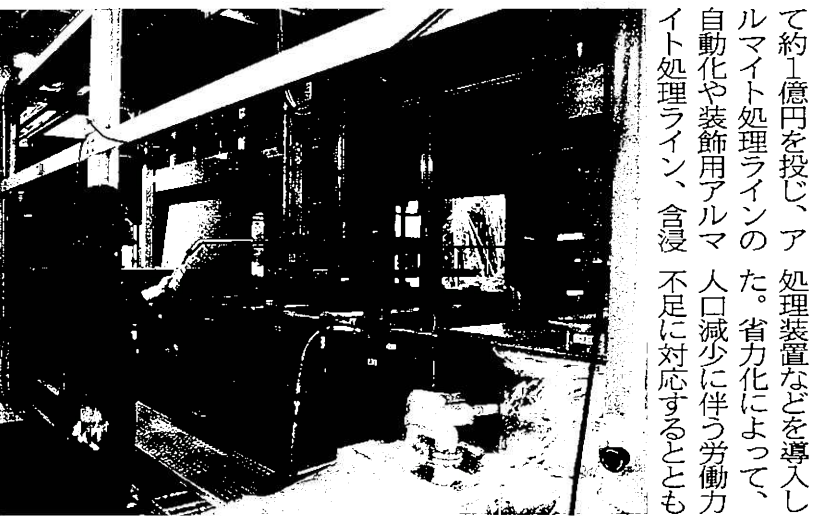
J A佐波伊勢崎(小倉正秀組合長)が新設するナス、キュウリの選果場起工式が28日、建設予定地の伊勢崎市田部井町のあずま野菜集送センターで開かれ、同J Aや自治体、施工業者などの関係者約90人が工事の安全を

ぐんま 企業探訪

上毛電化(藤岡市三ツ木)

アルミ製の自動車部品などの表面処理、アルマイト処理を手掛けている。アルミは鉄などと比べて軽く、軽量化が必要な分野で多く採用されているが、変色しやすい表面を

保護する必要がある。東や長野、福島などに約1億円を投じ、アルマイト処理ラインのた。省力化によって、生産能力の増強を図る。省エネ型冷凍機やボイラーも更新し、光熱費の2割削減につなげた。



上毛電化が新たに導入した自動アルマイト処理ライン

企業の合併・買収(M&A)も積極的に進めている。今春には近隣の同業者から事業の一部を譲り受け、特殊な表面処理技術を得た。売上高を、現在の3億円から、近い将来10億円に引き上げるのが目標だ。堀口社長は「M&Aや設備投資により、営業品目や技術力を強化できた。さまざまな素材に対応した処理技術の開発や、金属加工のグループ会社と連携した製品開発も進めたい」と話す。

企業データ

1981年設立。鉄鋼の黒染処理、鋳物やダイカストの表面に開いた微細な穴を埋める含浸処理なども手掛ける。同社によると含浸処理の受託処理は県内唯一。従業員35人。

前橋 野菜市と たむらや(同市)は15、同市公田町店(802・5678) 回野菜市 製のつまみ 楽しめる「インバル」 する。 北海道や 菜、果実を 催のワイン、 ソムリエが

自動化で生産力増強

上毛電化が新たに導入した自動アルマイト処理ライン

企業の合併・買収(M&A)も積極的に進めている。今春には近隣の同業者から事業の一部を譲り受け、特殊な表面処理技術を得た。売上高を、現在の3億円から、近い将来10億円に引き上げるのが目標だ。堀口社長は「M&Aや設備投資により、営業品目や技術力を強化できた。さまざまな素材に対応した処理技術の開発や、金属加工のグループ会社と連携した製品開発も進めたい」と話す。

企業データ

1981年設立。鉄鋼の黒染処理、鋳物やダイカストの表面に開いた微細な穴を埋める含浸処理なども手掛ける。同社によると含浸処理の受託処理は県内唯一。従業員35人。

前橋 野菜市と たむらや(同市)は15、同市公田町店(802・5678) 回野菜市 製のつまみ 楽しめる「インバル」 する。 北海道や 菜、果実を 催のワイン、 ソムリエが